

の み 能美ふるさとミュージアム (寺井町)



ひ おこし など 手軽に体験できるわよ。

なん ど い 何度でも行きたくなる身近な博物館なのだ。



じやうもんたいけん
縄文体験をしよう



じやうくわう ぜんけい
上空からの全景



わだやま 和田山のふもとにある「のみふる」だが、ろつ 六角形の形をした体験棟の建物に注目。出土 ひん 品の形をイメージしてデザインしたものだ。てんじしつ 展示室では、その「六鈴鏡」を見つけてみたい。



ひ お たいけん
火起こし体験

こ だいじん ひ 古代人にとって火はとても大切なものだった。「舞がり式」火起こし体験にチャレンジしてみよう。



せつき
石器



いしかわけん 石川県ではじめて旧石器時代(ききうせきじだい)の石器を発見したのは、能美のちゅうがくせい 中学生だった。てんじしつ 展示室では、石でつくった槍の先が展示されている。その薄さを実感したい。



てつせい かちゆう
鉄製の甲冑



てつせい ぶき ぶく のうこうぐ 鉄製の武器や武具や農工具は、それまでの木や銅でつくったものとは比べ物にならないほどの威力があるものだった。のみし 能美市では鉄製の甲冑が4つも出土している。



でんかせいひん ひる まえ
電化製品が広まる前の暮らし



しやうわ のうか いえ さいげん 昭和の農家の家が再現されている。げんかん 玄関をはい 入ると居間があり、いろりを中心に様々な道具が暮らしの様子を伝えてくれる。



のみでん はし じだい
能美電が走っていた時代



のみでん あいしやう ねあがり てら 能美電の愛称で根上・寺井・辰口の旧3町をつないでいた電車コーナーだ。実ぶつ 物の電車のある「のみでんひろば 広場」(倉重町)とあわせて見てみたい。

のみ たんじょう 能美の誕生



エントランスホールのフロアーに大きな能美市の航空写真が足元に広がっているのだ。
能美が誕生するまでの展示室にさっそく入ってみよう。思ったよりうす暗い。古代に入り込んでいく感じで、静かなのだ。



縄文人がどのように調理していたかを再現した動画があるわよ。「縄文鍋」の土器などの道具の使い方に注目してね。



弥生時代になると米作りがさかんになったのだ。お米は、どうやって食べていたのだ？。弥生土器の使い方にヒントがあるからよく見るのだ。なるほどと思うぞ。



「能美」とスミで書いた土器は、必見だわ。平安時代のものだよ。
これが「能美」と漢字で書かれたものとして一番古いものだよ。

のみ よこまく はなし 能美ふるさとミュージアムの横幕さんの話

能美ふるさとミュージアムは、能美古墳群の貴重な出土品をはじめとして、歴史や自然について学んで未来へつないでいく博物館をめざしています。
見学では、事前に「のみふる」の展示物がある程度調べておくといいです。実物を見ると興味が一層わいてくるでしょう。展示物をよく見て観察して気づいたことをメモしておこう。当時の人々の様子や今のくらしとのちがいを考えてみてください。
体験できることもこの博物館の特徴です。ぜひ、やってみてください。

のみ 能美ふるさとミュージアム



エントランスホールの地図

エントランスは航空写真のフロアーだ。QRコードで自分の住んでいる場所を確認してみよう。



縄文土器

弥生土器



「能美」と書かれた土器(復元)

データ

能美ふるさとミュージアム

電話 0761-58-5250
開館時間 9:00~17:00
休館日 毎週月曜日 第3火曜日
(休日の場合翌日開館)
入館料 高校生以下 無料
メモ 歴史の広場とすば一寺井(予約必要)で休憩できる。



くに こふん 国づくりと古墳



秋常山1号墳のジオラマ

「造出」(写真手前)とよばれる約10m四方では、儀礼が行われていたようだ。



六鈴鏡

直径10.4cmの鏡。ふちに6個の鈴がついている。中央にひもを通す穴がけられている。鏡の文様にも注目してみよう。(京都国立博物館所蔵)

これは、秋常山1号墳のジオラマなのだ。
上から見ると、墳丘が3段に積み上げられ、ふき石が並べられているようすがよくわかるのだ。



秋常山1号墳の前方後円墳や和田山5号墳の鉄の武具の出土品から、「加賀の王」とヤマトの王権との関係が深かったことが予想できるよ。国がどうやってできたかがわかってきそうだわ。



前方後円墳の和田山5号墳の出土品は、必見なのだ。2人の兄弟をほうむったものなのだ。鉄の武器、武具など豊富な副葬品にびっくりなのだ。



副葬品を見ていると当時の人たちの生活や政治の様子がわかるね。六鈴鏡は和田山1号墳から出土したわ。デザインがステキでしょう。鏡の表はピカピカしていたでしょうね。



しら 調べてみよう

- どんな石器でつくられた道具があるでしょうか。
- 縄文人は、どんな調理をしていたでしょうか。
- 縄文土器と弥生土器のちがいを調べてみよう。
- 古墳の出土品から人々の生活を想像してみよう。
- 「能美」の地名は、いつ頃、誕生したでしょうか。
- 「能美」と名づけられたのは、どんな意味があるか予想してみよう。

SDGsへの取り組み



しょうわ 昭和がいっぱい



げんかんの大きな太鼓が目にとびこんできたよ。「ドンドン ドンドン」とたたいて、村のお知らせをしたんだって。今ではぼうさい無線だね。



おけどうだいこ
桶胴太鼓

タテ135cm 直径79cmの大きな太鼓だ。玄関やのき先につるした。まつりや虫送りでもたたいた。

うす暗い居間は、はだか電球2つだけなのだ。よく見ると電化製品はなにもないのだ。



いろいろな道具がならんでいるから、なにに使ったのか予想しながら説明を聞くといいのだ。



いろいろのある居間

板の間の中央にいろいろがある。QRコードの音声ガイドを聞くとむかしの生活がよくわかる。



いろいろのまわりで食事や仕事をしたのだ。昔のテーブルやイスのない生活と現在の生活をくらべて話し合うのだ。



SDGsへの取り組み



しらべてみよう

- ・今と昔の道具を比べ、どんな変化をしてきたかしらべてみよう。
- ・昔の道具はどんな材料で作られているか調べてみよう。

のみ 能美のしぜん



ノミコビトがでてくるプロジェクションマッピング

ようこそ。かわいいノミコビトたちが、のみのしぜんやれきしをしょうかいするのだ。のみ市は、山から海までのしぜんがいっぱいあるのだ。山や川や海へにはめずらしい生きものやしよくぶつがいるのだ。



山から海までいろいろな生きものがいるジオラマ

海のちかくでは、おやどりがエサをはこんできたり、たまごをまもったりするようすがみられるよ。



山では、池のまわりの木の上にたまごをうむ、めずらしいカエルがいるのだ。池のようすをのぞいてみるのだ。



おんせい
音声ガイド



スイッチをおすと
においがける。

おん音せいガイドやにおいのでるてんじでは、耳やはなや目をつかて学ぼうね。



SDGsへの取り組み



しらべてみよう

- ・のみ市は、山から海までにどんな生きものがあるかしらべてみよう。
- ・生きものが、なにをしているかを話しあいましょう。